



衆議院議員

# 宮沢ひろゆき

## 国際秩序どう変わるか

「三文書」改定は安全保障のカギ

2022年2月24日は、当事者であるウクライナ国民のみならず、国際社会の多くの人々によって記憶されることになるでしょう。ご承知のように、この日、ロシアは一方的にウクライナへの侵攻を開始しました。核保有国であり、国連安保理で拒否権を持つ常任理事国であるロシアが隣国を侵略し、核兵器の使用さえちらつかせて周辺国を威嚇する振る舞いは、国際政治学の識者らによって、戦後国際秩序を破壊する行為と指摘されています。

安保関係の専門家だけでなく、一般国民の間でも、「日本は本当に安全か」という不安があります。東アジアにおいて、我が国は中国、北朝鮮に加えてロシアの圧力と対峙せざるを得ないことが実感として受け止められているからでしょう。日本を取り巻く安全保障環境は史上最も厳しい段階にあると言わざるを得ません。今回のウクライナに対するロシアの侵略を、中国は子細に検証し、必ず台湾侵攻へ活かしてきます。

我が国を守るために必要なことは何か。第一に、自衛隊による防衛力の大幅な強化です。そのためには、いわゆる「敵基地攻撃能力」の獲得、ドローンの活用、人的基盤、生産基盤を始め継戦能力、抗堪性の強化が必要で、武力攻撃を受けた際、海上優勢、航空優勢を確保し、陸上部隊の上陸を許さないこと。一部で上陸させてしまっても即座に対処でききちんと戦い続ける体制を準備しておかなければなりません。

第二に、日米同盟の強化と拡大抑止の向上です。日米の共同作戦機能の強化はもちろん、米国による核兵器の使用に関する意思決定に、日本が関与することと責任を共有する仕組みを作ることです。いざという時に日本を守る核の傘がきちんと開くよう、平時から様々なことを詰めて取り決めていく必要があります。

第三に、台湾との協力の深化です。中国による現状変更の圧力を最も受けているのは、日台両国に他ならないからです。これまでもコロナワクチンの提供など、民生分野での日台協力は進んできました。両国与党議員同士の安保対話が昨年初めて開催されましたが、この枠組みを恒常的かつより密接なものにさせていく必要があると思います。

年末には、国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画の「三文書」が改定されることになっており、それに対する自民党提言を4月にまとめました。ウクライナでの教訓なども確実に提言に盛り込み、三文書への反映を求めています。



01/24 衆議院予算委員会

# まかせて安心

磐田事務所・  
自民党静岡第三区支部  
〒438-0086  
静岡県磐田市見付5738-13  
TEL:0538-30-7701  
FAX:0538-30-7702

国会事務所  
〒100-8981  
東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館1021号室  
TEL:03-3581-5111 内線51021  
FAX:03-3508-3435



www.miyazawa-hiroyuki.jp

宮沢ひろゆき

検索



### — 宮沢ひろゆき 略歴 —

昭和50年1月  
静岡県 / 旧磐田郡に生まれる

平成5年3月  
磐田南高等学校卒業

平成9年3月  
東京大学法学部卒業

平成15年～24年  
磐田市議会議員(3期)

平成24年12月  
衆議院議員 初当選(現在4期)

平成28年8月  
防衛大臣政務官拜命

#### 衆議院

安全保障委員会理事  
環境委員会  
原子力問題調査特別委員会

#### 自民党

国防部会長  
行政改革推進本部幹事  
財政政策検討本部幹事

#### 趣味

剣道(六段)  
居合道(五段・水鷗流)  
茶道  
書道

今年4月から、体外受精や顕微授精を含む不妊治療への保険適用が始まりました。以前から当事者の方を中心に強い要望がありました。中には10年以上もつらい治療を自費で受け、ようやく命を授かったり、残念ながら妊娠に至ることができなかったりした

方もおられます。どれほどの方々が保険適用の実現を待ち望んでおられたのか、想像に難くありません。今後は、窓口での負担が3割となります。また、治療費が高額な場合の月額上限(高額療養費制度)もあります。子どもを授かりたい方々に

とって、今回の保険適用が心理的にも経済的にも強い追い風になることを望みます。また、当事者の方々の声をさらに伺い、必要な制度拡充を求めてまいります。

### — 不妊治療への保険適用イメージ —

これまで保険適用だったもの
<b>原因の検査・治療</b> (排卵障害、精管閉塞など)
<b>4月から新たに適用されるもの</b>
<b>人工授精</b> 年齢制限なし
<b>体外受精・顕微授精</b> 女性の年齢が43歳未満、最大で6回までの制限あり

## 待望の不妊治療への保険適用が実現



02/18 袋井公証役場存続要望活動

袋井公証役場の存続が決まりました。一昨年、法務省から、袋井公証役場の掛川公証役場への統合案が提示されましたが、大場規之袋井市長や水谷欣志袋井商工会議所会頭をはじめ、多くの地元の方々から強い要望を受け、法務省と折衝を続けてまいりました。中東遠エリアは、海外とのビジネスを展開する事業者も多く、実際には近年、袋井公証役場の利用が大きく伸びてきています。そうした説得を続けた結果、地元の熱意も汲み取って頂き、存続実現を勝ち取りました。これからも地元の方々の利便性向上に力を尽くします。

## 食料安全保障の確保で安定した農業実現

原油や化学肥料原料の国際価格の高騰に加え、ウクライナ情勢や北米・南米における高温乾燥の影響で穀物価格がかつてない水準で高騰し、輸入食料品だけでなく、日本の農業現場にも大きなしわ寄せが来ています。

こうした問題に対策を提示するため、自民党内に「食料安全保障に関する検討委員会」を新設し、私も参加しております。

気候変動やコロナ禍による世界的なサプライチェーンの混乱など、原因は多層的であり、食料安全保障の戦略を確立することが急務です。今年5月までに中間とりまとめを行い、新たな食料安全保障戦略の策定に向け、議論を挑んでいきたいと思っております。

## 【宮沢ひろゆき 晃援会 申込書】

フリガナ氏名	年齢	歳
住所(〒 - )		
自治会	紹介者	
電話番号(固定)		
電話番号(携帯)		
FAX番号		
Email		
ご家族氏名		

\*個人情報保護法に基づき、後援会活動以外には使用いたしません。

### 地方が原点。政治にまっすぐ!

宮沢ひろゆきの活動へのご支援をお願いいたします! お手伝い、ご協力いただけることがございましたら〇印をお願いします。

- 1 自宅周辺や知人の方へ国会宅配便や資料の配布**  
本紙「国会宅配便」等の配布をご協力いただける方を募集しています。
- 2 屋外ポスターの設置**  
屋外ポスターをご自宅やご所有の土地へ掲示していただける方を募集しています。
- 3 自由民主党への入党**  
2年間継続の党員資格で総裁選において、党員として投票いただけます。  
一般党員:4,000円/年 家族党員:2,000円/年
- 4 その他 ( )**

FAX / 0538-30-7702



03/07 静岡県容容生活衛生同業組合菊川支部総会

3  
2022 March



02/06 遠州抜刀会



01/09 海老塚自治会初寄



01/06 菊川市茶手揉み保存会初揉み



12/05 磐田市地域防災訓練

12  
2021 December



03/27 池田農友会設立式



03/22 マスコミインタビュー



02/27 第107回袋井歌謡連盟発表会



02/20 磐田市ソフトボール協会役員会



01/13 航空自衛隊浜松基地賀詞交歓会



01/13 スズキ鈴木修相談役懇談



12/14 宮澤博行を励ます会～金鶏の会交流会～



03/27 海老塚自治会通常総会



03/28 アベマプライム生出演



02/28 「おせっかいの会」保育園ジャガイモ植え付け作業



02/28 袋井・森地域シルバー人材センター役員会



01/13 スズキ鈴木修相談役懇談

1  
2022 January



12/19 ボーイスカウト磐田第三団 発団70周年記念行事

2  
2022 February



01/20 大寒の祓



01/04 小笠手揉み製茶技術保存会初揉み



02/03 淡海國玉神社節分祭



01/06 いわた新春のつどい



12/26 雷岡地区創生会議



02/11 菊川市河城地区連自治会定例会



12/24 自民党福島県連学生部オンライン研修会

宮沢ひろゆきコラム

Hiroyuki Miyazawa's column

“バス旅行が待ち遠しい”

新型コロナウイルスの影響でバス旅行はほぼゼロの状態が2年以上続いています。学校の遠足、野球の応援、修学旅行、市民活動の視察、伊勢参宮、靖国参拝、その他にも町内会・自治会、シニアクラブの慰安旅行など数え上げたらきりがありません。私も、消防団の旅行では一年の疲れも吹き飛ばすような楽しい思い出があります。

そのバス旅行を担ってきた旅行会社・バス会社の経営者・従業員の皆さんの声を、地元でも国政の場でも聞きました。自民党本部では、バスガイドさんが制服姿で「私は夢を持ってガイドになりました。後輩たちにもこの仕事に誇りをもって続けてほしいです。」と涙ながらに窮状を訴える場面もありました。デルタ株の収束で一時光明が見えたとき、GOTOトラベルを団体にも適用してバス旅行の促進も図りましたが、オミクロン株の蔓延で一気に闇に閉ざされました。旅行関係者の皆さんは絶望に近いものがあつたでしょう。それは、飲食店の皆さんもきっと同じかもしれません。

だからこそ、助け合いなのです。大変な業界をみんなで応援する。

「あの時は大変だったね。」

きっとそう言える時が来るでしょう。バス旅行を楽しめる日は遠くないと信じて、皆さんで頑張りましょう。

